




KITOKU SHINRYO

お米と。あなたと。
 **木徳神糧**
証券コード：2700

2019年12月期第2四半期

決算説明資料

 **木徳神糧**株式会社
2019年8月30日



KITOKU SHINRYO

お米と。あなたと。

 **木徳神糧**

証券コード：2700

2019年12月期第2四半期 連結業績の概況



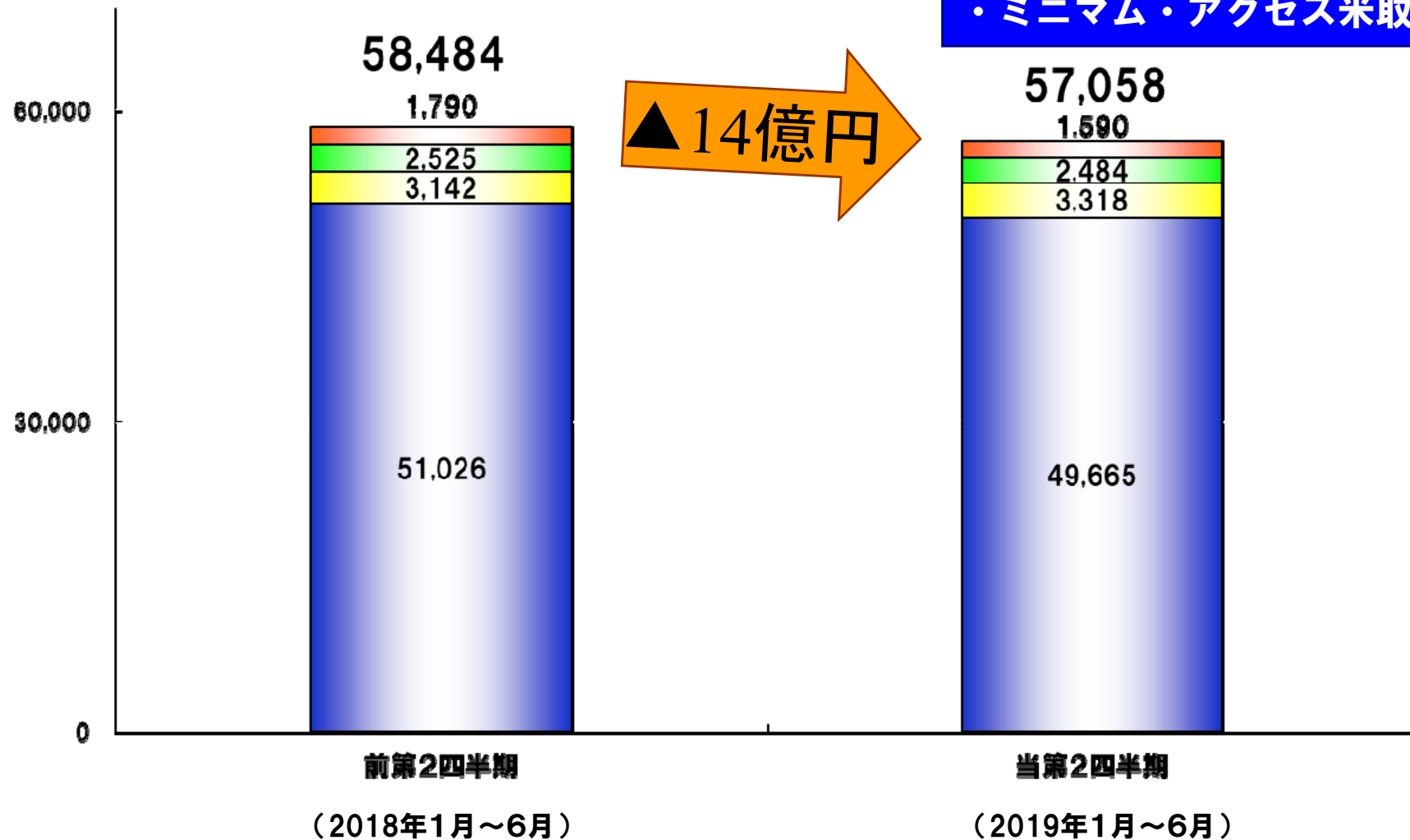
減収・減益

単位：百万円

	前第2四半期 (2018年1月～6月)	当第2四半期 (2019年1月～6月)	増減額	前年同期比
売上高	58,484	57,058	▲1,426	97.6%
売上総利益	3,211	2,897	▲314	90.2%
売上比	5.5%	5.1%		
販売管理費	2,683	2,662	▲21	99.2%
売上比	4.6%	4.7%		
営業利益	528	234	▲294	44.3%
売上比	0.9%	0.4%		
経常利益	572	270	▲302	47.2%
売上比	1.0%	0.5%		
特別損益	▲8	▲9	▲1	—
売上比	—	—		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	369	166	▲203	45.0%
売上比	0.6%	0.3%		

単位：百万円

■ 米穀事業
 ■ 飼料事業
 ■ 鶏卵事業
 ■ 食品事業



米穀事業
 ・ ミニマム・アクセス米取扱い減少



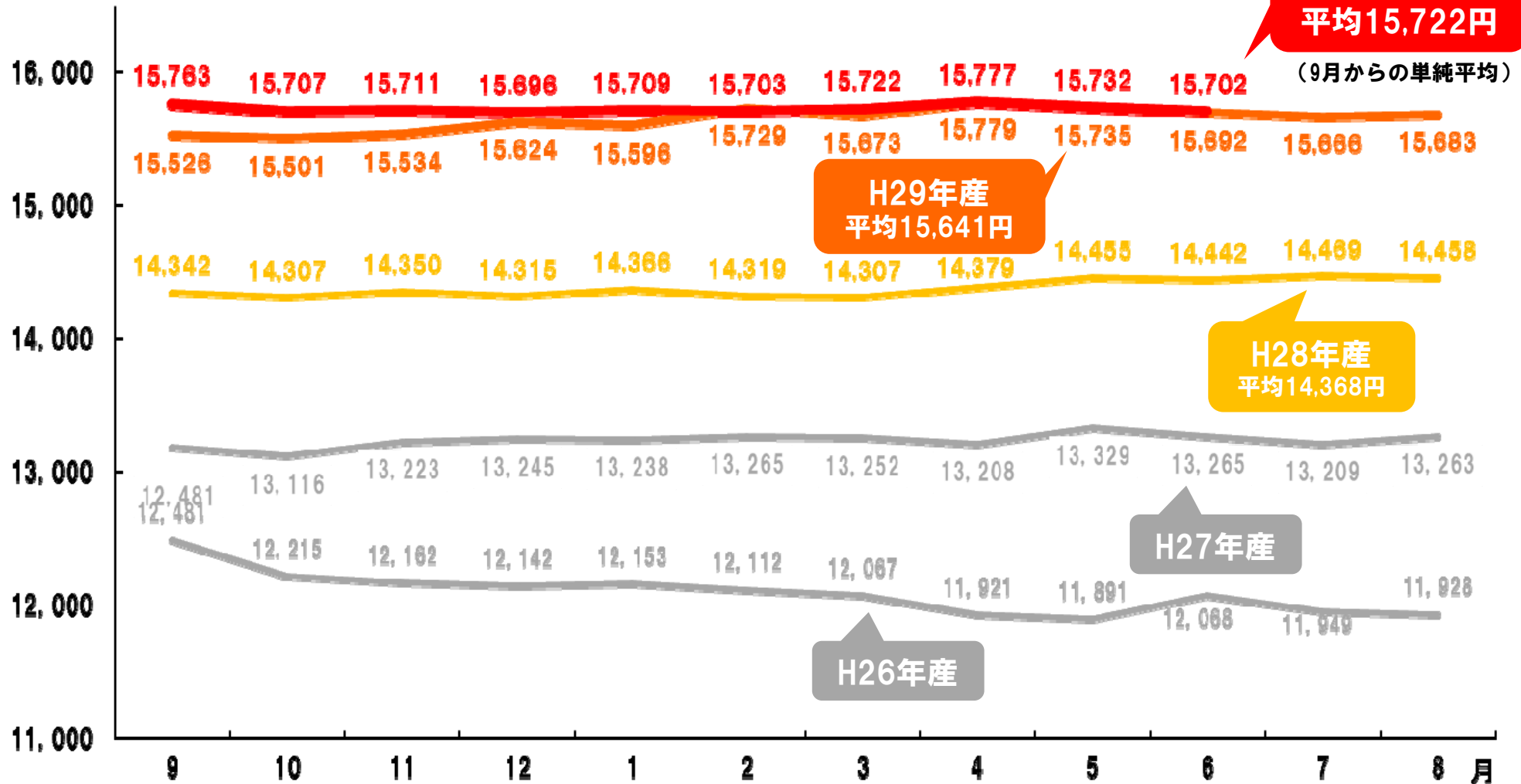
コメの相対取引価格の推移

お米と。あなたと。

木徳神糧

証券コード：2700

単位：円/60キロ



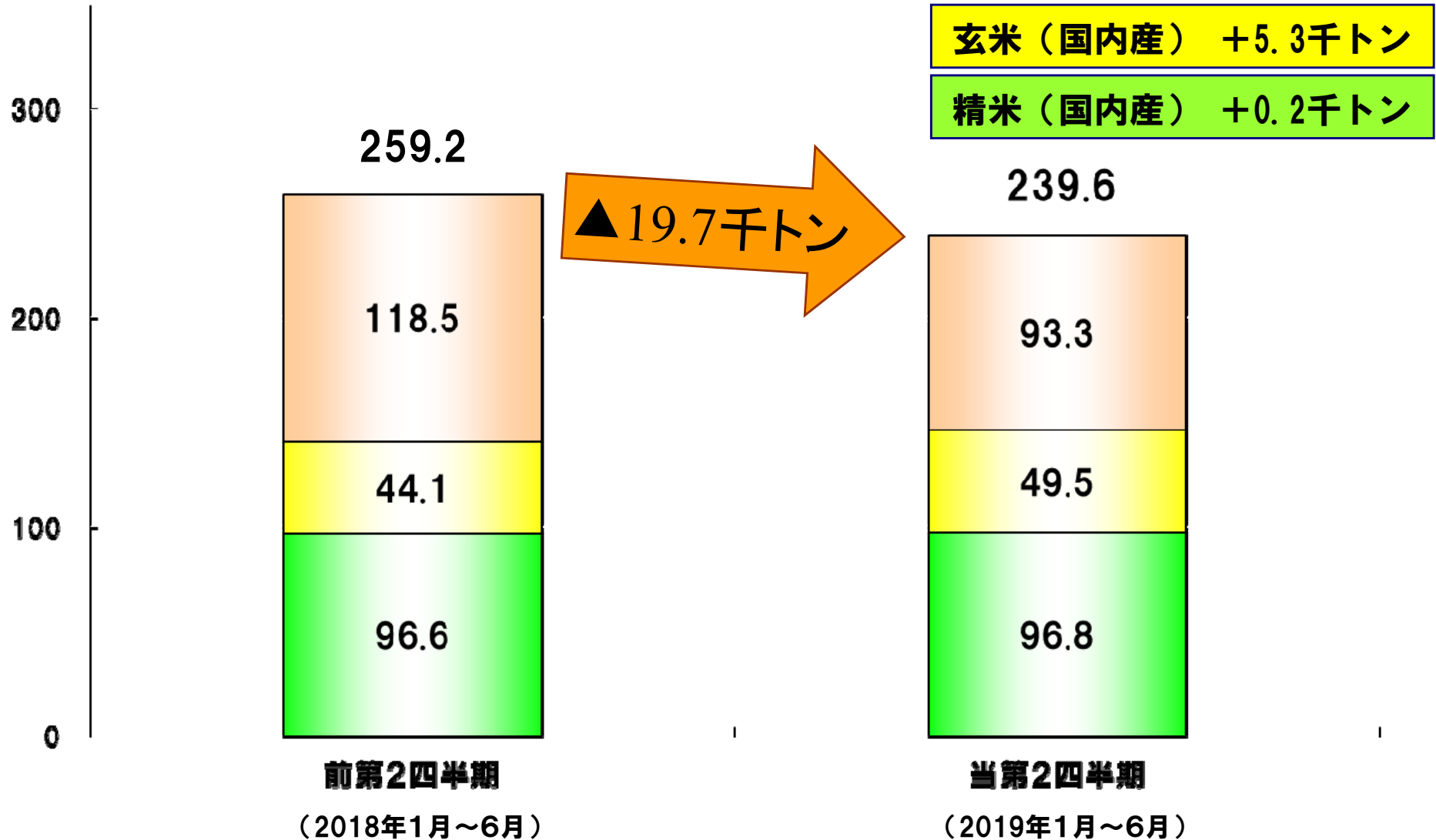
- 注：1. 価格には、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。
 2. 相対取引価格は全銘柄平均価格であり、産地銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。
 3. H25年4月から消費税3%アップで8%となっている。



販売数量（米穀事業）

単位：千トン

□ 精米(国産) □ 玄米(国産) □ 精米(外国産)

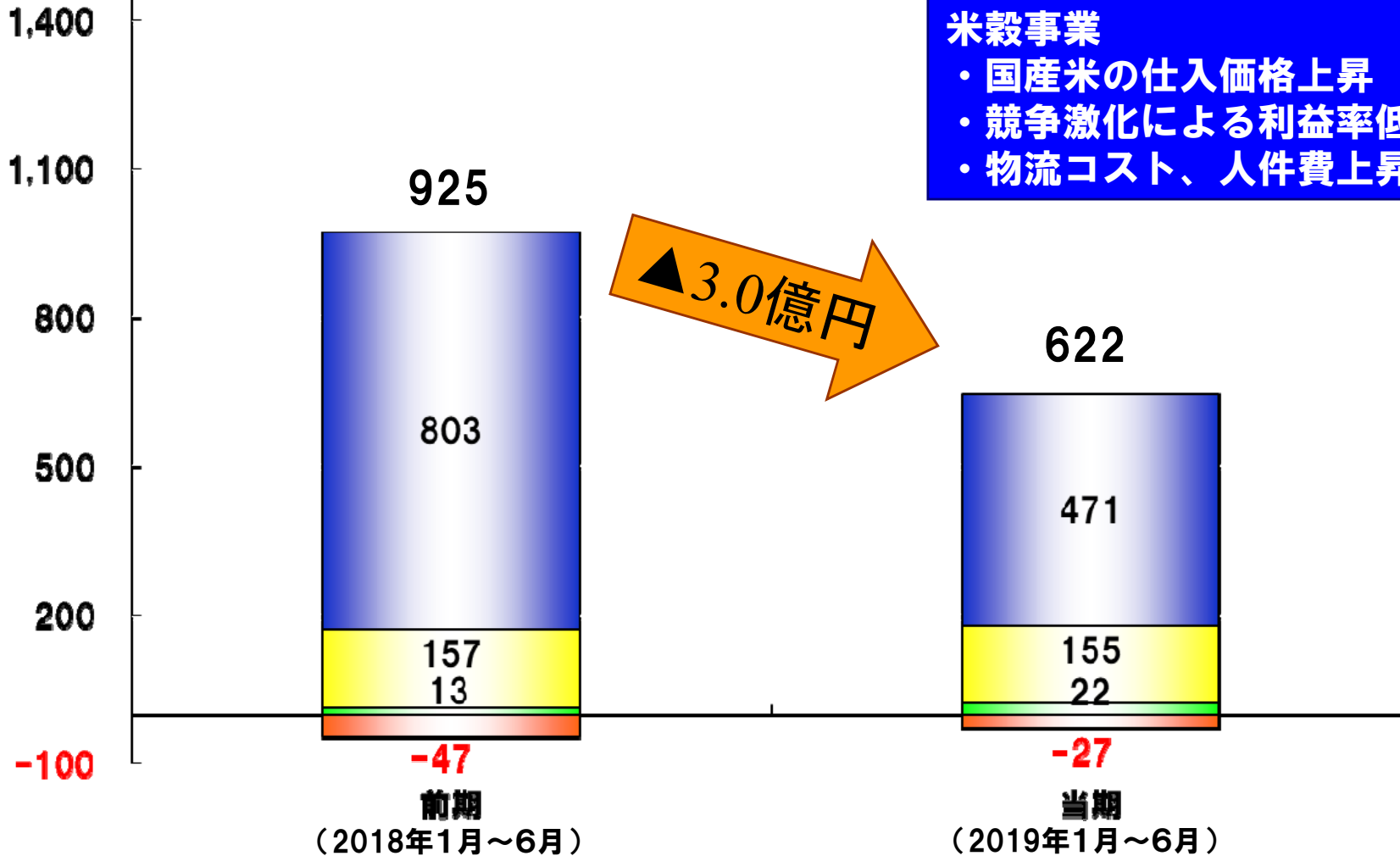




営業利益（セグメント別）

単位：百万円

□ 鶏卵事業 □ 飼料事業 □ 米穀事業 □ 食品事業



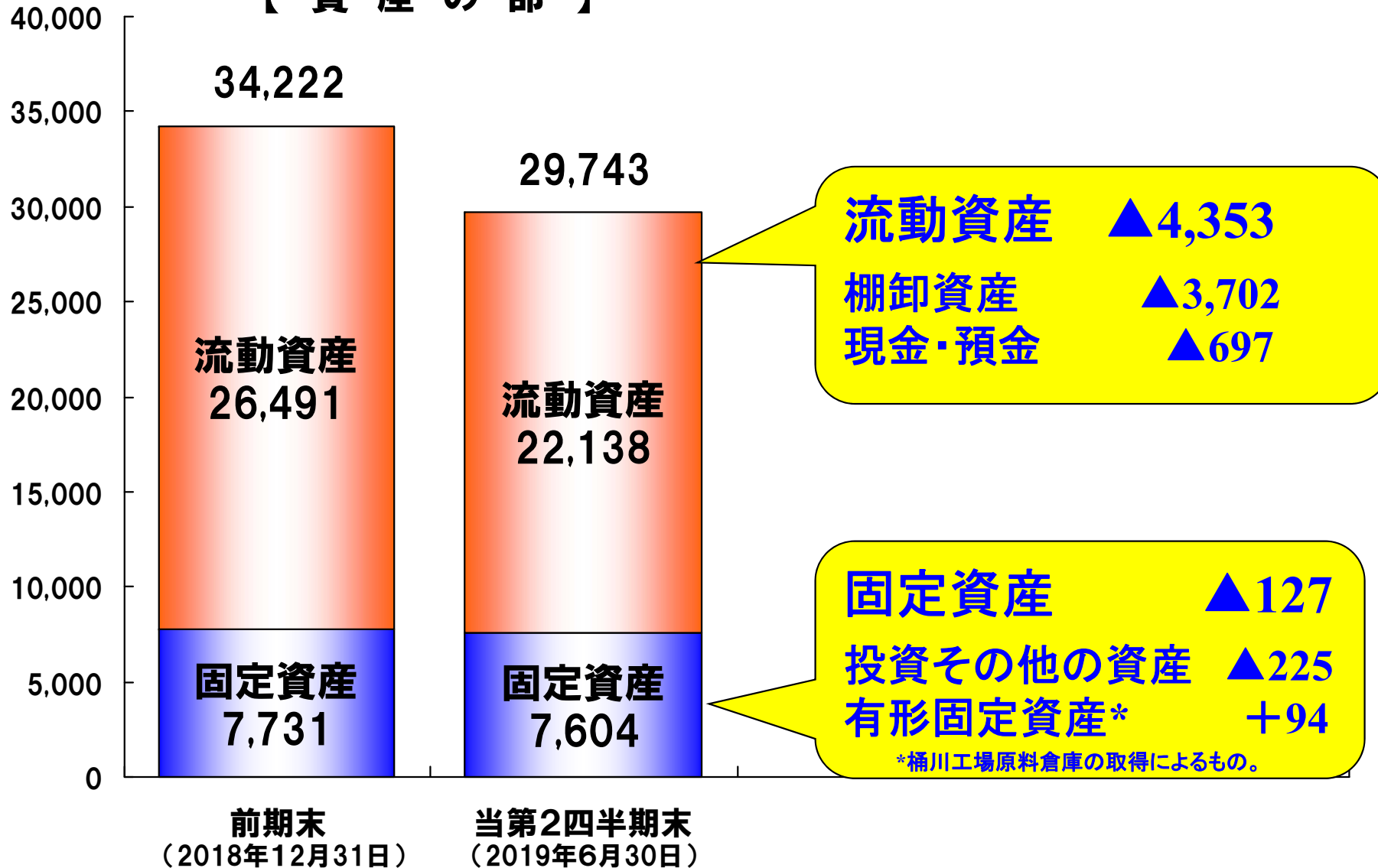
米穀事業

- ・ 国産米の仕入価格上昇
- ・ 競争激化による利益率低下
- ・ 物流コスト、人件費上昇

▲ 3.0億円

単位：百万円

【 資 産 の 部 】

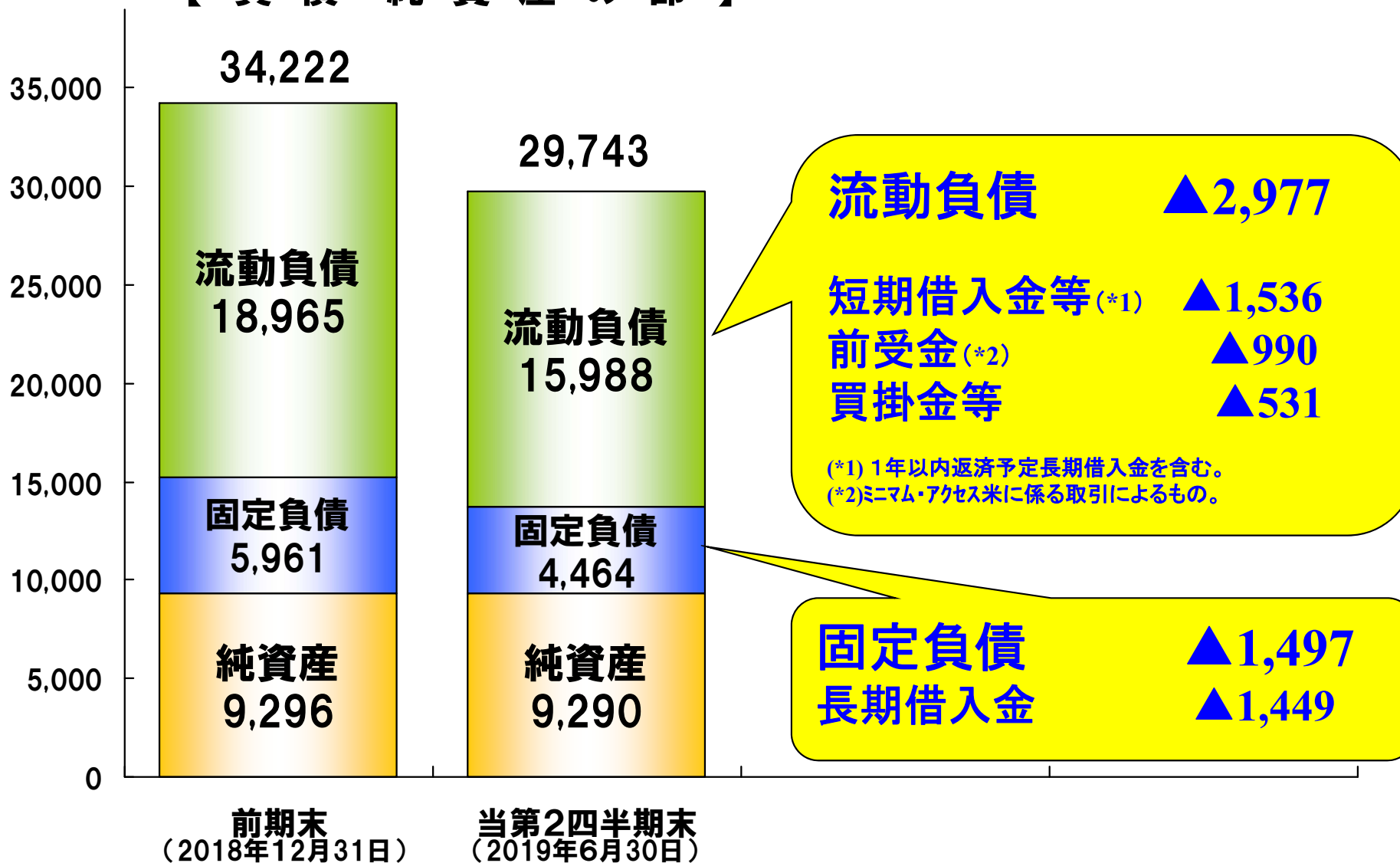




資産、負債及び純資産の状況（2）

単位：百万円

【 負債・純資産の部 】





決算ハイライト (B/S)

お米と。あなたと。

 木徳神糧

証券コード：2700

	前期末 (2018年12月31日)	当第2四半期末 (2019年6月30日)	増減額
総資産 (百万円)	34,222	29,743	▲4,479
純資産 (百万円)	9,296	9,290	▲6
自己資本比率 (%)	26.8	30.8	+4.0
1株当たり 純資産 (円)	5,549.01	5,546.77	▲2.24

(参考)自己資本:2018年12月末 9,169百万円、2019年6月末 9,165百万円。



決算ハイライト (C/F)

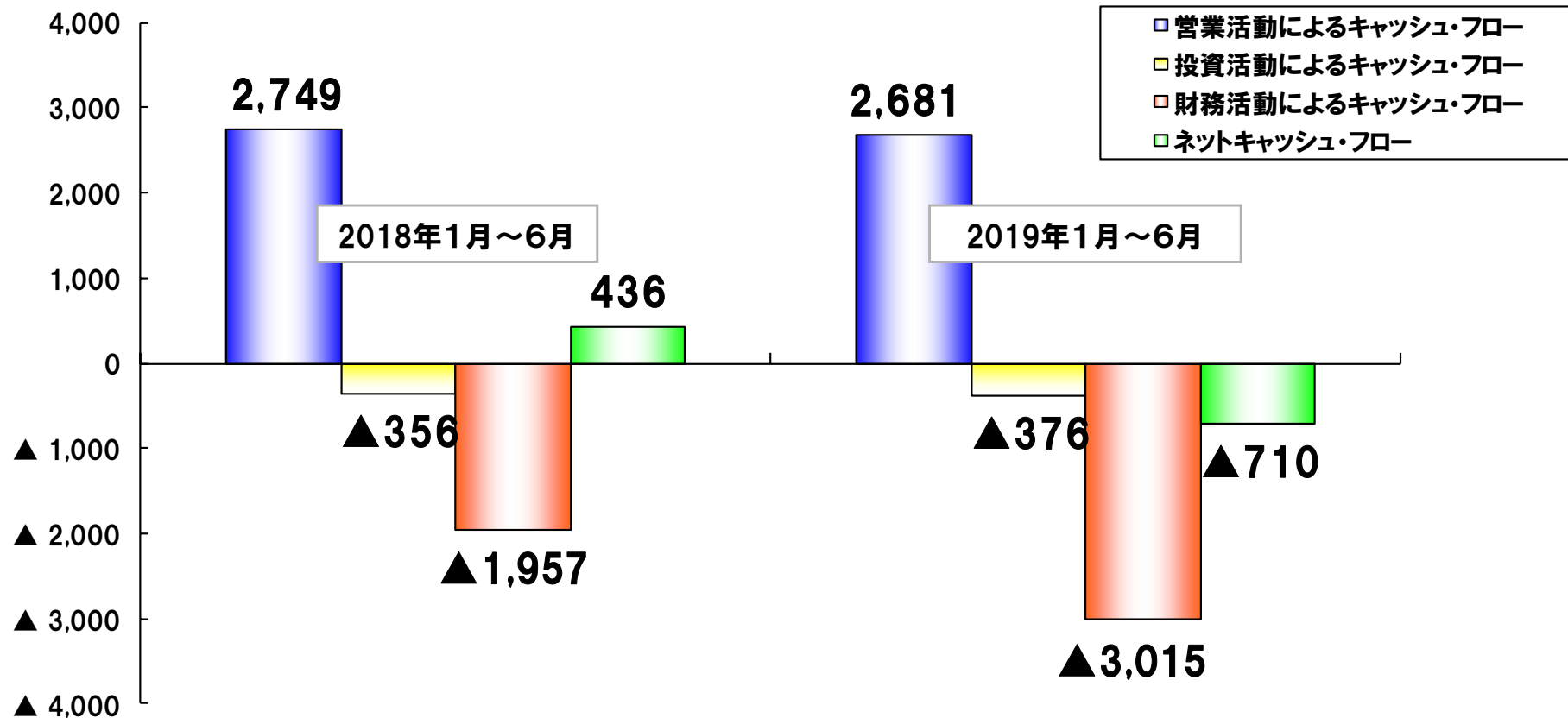
お米と。あなたと。

木徳神糧

証券コード：2700

単位：百万円

	前第2四半期 (2018年1月～6月)	当第2四半期 (2019年1月～6月)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,749	2,681	▲68
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲356	▲376	▲20
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,957	▲3,015	▲1,058





KITOKU SHINRYO

お米と。あなたと。

 **木徳神糧**

証券コード：2700

経営戦略



経営理念

コメビジネスを軸に世界中の消費者に
コメとコメ関連食品の素晴らしさを発信し、
健康で楽しいライフスタイルの実現を
サポートします。

キーワード

変化へ迅速対応
存在意義の発揮



木徳神糧株式会社

飼料事業

- 数量とエリア拡大
- 取扱商品の用途拡大

米穀事業 (主力事業)

- 国内：生産者に近づく体制づくりの具現化
生産体制の再構築
- 海外：コメビジネスのグローバル展開
国産米輸出の拡大と市場の開拓

鶏卵事業

- 中食・外食向け
販売強化
- 加工品の提案営業
の拡大

食品事業

- 付加価値商品のラインナップ拡充

生産者に近づく体制作りの具現化

◇地域適性品種（多収穫品種）の生産と販売の拡大

- エリア毎の適性品種で「地産地消」かつ「長期安定的」に生産者と実需者をつなぐ取り組みに
- 農研機構と連携し、実需ニーズに対応する品種の種子確保
令和元年産見込6,000トン、令和2年以降10,000トン目標

（つきあかり、たちはるか、ゆみあずさ、虹のきらめき、まなむすめ等）





生産者に近づく体制作りの具現化

◇産地との取り組み強化

- ・各地で協力関係にある全農・各JAの精米設備や倉庫、物流等の産地インフラを活用し、効率化を図る。
- ・複数年や固定価格での契約を活用し、当社は安定調達、生産者は安定経営が長期的に可能な関係を構築する。
- ・生産法人と共同の取り組みで、優良産地と当社拠点のエリアでの関係をより強固にし、地産地消を進める。

**資本業務提携している全農グループと
協力した取り組み**



◇長鮮度商品の拡充 「長鮮度米®」

- ・ 自社ブランド（NB商品）を積極的に展開
- ・ 大手コンビニ、量販店へPB商品を導入済み
- ・ 工場での計画的な生産やフードロスの削減に寄与

立たせて保存できる
スタンドタイプで
冷蔵庫での
保存をおすすめ

賞味期限を印字
(現行商品は開封前6か月)



開け閉めしやすい
チャック式

脱酸素剤封入と
窒素充填で
長期保存

現在展開中の長鮮度米（2kgタイプ）



生産体制の継続的レベルアップ

◇生産・品質管理体制

- ・国際認証規格（FSSC22000/精米HACCP）による管理体制





生産体制の継続的レベルアップ

◇生産・品質管理体制

- ・ 桶川工場新原料倉庫の活用
機動的な仕入対応/ドライバー待機時間の削減
災害対策の備蓄としての面も



桶川工場の新原料倉庫



ドライバーの荷待ち時間の削減

◇コメビジネスのグローバル展開

■ ベトナム南部における生販体制の拡充

- ・ 外部集荷で取扱数量や品種の確保
- ・ 工場設備と管理手法の改善継続し高品質と効率化

ハード面：選別機、石抜き機、納入船着岸用岸壁補修
ソフト面：研修教育、在庫管理の徹底



Ba the工場 着岸用岸壁補修工事



日本製選別機

◇国産米の輸出拡大と市場の開拓

■安全・安心で高品質の国産米輸出の拡大に注力

- ・各国パートナーと共に業務用ユーザの開拓強化
- ・各国における商談会・展示会への積極参加
- ・中国での中糧集団（COFCO）との取り組み強化



多言語対応の日本米輸出用サイト
「WA RICE（ワライス）」
炊き方やレシピ、販売店等を紹介



昨年につづき
タイ最大の食品見本市タイフェックスへ出展

◇数量とエリアの拡大

- ・北海道、中京、関西、九州における販売強化
- ・仕入ルートが増加による数量確保
- ・ニーズの高まる養殖向け水産飼料原料の拡販
米糠・飼料用小麦粉等の取扱で当社強みの発揮

◇取扱商品の用途拡大

- ・キノコ培地原料の販売強化、肥料その他への活用
- ・グループの海外拠点を活用し輸入飼料の取扱拡大



有望市場である魚の養殖



菌床栽培向けキノコ培地



海外から高品質な飼料の輸入



◇付加価値商品のラインナップの拡充

■「健康」「利便性」を軸に独自商品の展開

ノングルテン、ベジタリアン・ビーガン対応、機能性食品、 テストキッチンを活用した商品開発/レシピ開発



◎ノンオイルドレッシング サーモンの彩サラダボウル

ごはんをロカゴに変えるだけで
糖質**32%カット**
食物繊維**4.3倍**

材料 (1人前)

ロカゴ	1/パック	かわれ大根	5g	ワインビネガー	小匙1
サーモン	50g	玉ねぎ	10g	レモン汁	小匙1/2
温泉卵	1個	トマト	45g	みりん	小匙1
アボカド	20g	ブラックオリーブ	5g	粒マスタード	大匙1/2
サニーレタス	15g	塩、こしょう	少々	塩、こしょう	少々
ペビーリーフ	10g				

▼ドレッシング

作り方

- ①ロカゴを加熱する。
- ②ドレッシングの材料を混ぜる。
- ③サーモンは1センチ角に切り、ドレッシングを少量かけなじませておく。
- ④野菜は食べやすい大きさに切り、ブラックオリーブは3mmの幅にスライスし、残りのドレッシングと和える。
- ⑤お皿にロカゴを盛り、②、③、④と温泉卵を盛り、完成。

栄養成分 (1人前)

エネルギー	461kcal	糖質	42.8g
たんぱく質	22.4g	食物繊維	11.7g
脂質	19.3g	食塩相当量	1.71g
炭水化物	54.5g		

低糖質パックごはん「ロカゴ」を
同商品を使用したレシピと一緒に提案



たまご売り場での他社
たまごかけごはんのタレとのコラボ



KITOKU SHINRYO

注意事項

お米と。あなたと。

 木徳神糧

証券コード：2700

本資料は、会社情報、経営計画、連結業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等と異なる可能性があります。

本資料は、2019年8月15日現在のデータに基づき作成しております。

【お問い合わせ先】

木徳神糧株式会社 社長室

TEL：03-3233-5125 Email:ir@kitoku-shinryo.co.jp

URL <http://www.kitoku-shinryo.co.jp/>